

# 京都市循環型社会推進基本計画

## みやこ 京のごみ戦略21



循環の輪が小さいほど環境への負荷は少なくなります

平成15年12月  
京都市

【表紙挿絵】高月 紘 京大教授（京都大学環境保全センター長）のイラスト

飛行機や鉄道，自動車など大量輸送の手段がなかった時代，私たちの生活は，「地産地消」という言葉に象徴されるように，限られた地域の中でモノが循環する環境への負担の少ない社会でした。

年月が流れ，必要以上にモノがあふれる現代社会の中で，ようやくその弊害に気づいた私たちは，天然資源消費の削減と環境への負荷の軽減に向けてごみ減量やリサイクルの取組を強化しつつあります。

このイラストは，リサイクルの取組は重要であるものの，一旦原料に戻してから再び製品とするため多くの工程が必要であり，モノの再使用（使用した容器等を回収し，そのまま再び使用すること）や自分のモノを修理して再利用するなど，ごみの発生そのものを抑制する身近で小さな循環システムの方が，ごみ問題のより根本的な解決法であり，環境負荷も小さいことを示しています。

# 「京都市循環型社会推進基本計画」の策定に当たって



京都市長

ますもと よりかね

本 市 長 兼

産業革命以来、私たちは大量生産・大量消費・大量廃棄に象徴される社会経済システムの下、便利で快適な生活を追求してきました。

しかし、このようなシステムは、私たちに物質的な豊かさをもたらした反面、その代償として、地球温暖化、オゾン層の破壊といった地球環境の危機や河川の汚染、ごみ問題といった身のまわりの切実な環境問題をももたらしました。

こうした中、人々が安全・安心に暮らせる地球環境を取り戻すために、従来のシステムに代わり、環境負荷が少なく持続可能な新しい環境調和型の社会経済システムを構築していくことが今、私たちに求められています。

京都市では、平成11年6月に「新京都市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画～京(みやこ)・めぐるプラン」を策定し、ごみの減量やリサイクル、適正処理に向けた様々な取組を進めて参りましたが、計画策定から5年近くが経過し、国においては循環型社会形成推進基本法をはじめとする各種リサイクル関係法が策定され、排出者責任、拡大生産者責任といった新たな考え方が登場するなど、循環型社会形成に向けた動きが更に加速する方向にあります。そこで、こういった社会動向の変化に的確に対応するため、前基本計画の見直しを図ることと致しました。本年9月には、京都市廃棄物減量等推進審議会から「京都市における循環型社会の形成に向けた提言」を頂戴し、この提言及び計画に関する市民の皆様からのパブリック・コメントを踏まえ、ここに「京都市循環型社会推進基本計画」を策定致しました。

本計画では、1200年の悠久の歴史を持つ京都が、長い伝統の中で培ってきた「ほんものを大切にすること」につながる、ごみの発生抑制・再使用といった『上流対策』に重点を置き、『分別・リサイクルの拡大』や『環境負荷の少ない廃棄物管理システムの構築とまちの美化』を加えた施策の三本柱を推進し、従来のごみ処理中心の施策から、ごみをコントロールする循環管理型の施策へと転換を図っていくこととしています。

また、平成27年度(2015年度)を目標年度として、ごみの総排出量の削減率など具体的な取組についてのきめ細かい数値目標を設定し、その進捗管理を徹底していくことなどにより、計画の着実な推進を図ることと致しました。

本計画の基本目標として掲げる「明るい循環型都市・京都」の実現のためには、市民、NPO・NGO、事業者の皆様とのパートナーシップの下、一人一人が行動し、実践していくことが必要です。皆様の御理解と御協力をお願い致しますとともに、本計画の策定に当たりまして、御意見、御提言をいただきました市民、事業者の皆様並びに熱心に御審議いただき数多くの貴重な御助言を賜りました京都市廃棄物減量等推進審議会及び各部会の委員の方々に厚く御礼申し上げます。

## 目 次

1	計画の概要.....	1
1.1	計画の基本目標とまちの姿.....	2
1.2	計画の体系.....	3
1.3	計画の数値目標.....	4
2	計画策定の趣旨.....	7
2.1	社会動向の変化と計画策定の意義.....	8
2.2	計画の位置付け.....	10
2.3	計画の期間.....	11
3	一般廃棄物（ごみ）対策の現状と課題.....	13
4	計画の基本的な考え方.....	17
4.1	「明るい循環型都市・京都」を目指して.....	18
4.2	基本的な考え方（ごみ処理から循環管理への変革）.....	20
5	計画の目標.....	25
5.1	ごみ量の予測.....	26
5.2	数値目標.....	27
6	目標達成に向けた具体的な施策.....	43
6.1	上流対策に重点を置いたごみ減量化の促進.....	44
6.2	分別・リサイクルの拡大.....	59
6.3	環境負荷の少ない廃棄物管理システムの構築とまちの美化.....	67
7	計画の進捗管理.....	77
8	重点施策とスケジュール.....	81

資料